



## 地域を花でいっぱい

### 一年々広がる境川緑化 ボランティア活動



このボラン  
ティアは、生徒会  
本部が中心とな  
って全校生徒に  
呼びかけ組織さ

上和田中学校のそばを  
流れる境川の河川敷は、  
毎年、春は菜の花、秋はコ  
スモスが咲きそろう、行  
き交う人たちの目を楽し  
ませていきます。これは、上  
和田中学校の生徒でつく  
る「境川緑化ボランティア  
」が、活動の一環として、  
地域を花で飾るうと取り  
組んでいるものです。

今年度は6月初旬から  
放課後に集まり、境川の  
河川敷を耕したり、コス  
モスの苗を移植したり、  
除草に取り組みだりして

れ、今年度は、約8割の生  
徒が参加しています。活  
動にあたっては、全学年  
が4クラスずつという特  
長を生かし、毎月一回「  
組の日」「2組の日」と活  
動日を決め、1年生から  
3年生までの同じクラス  
の生徒同士が一緒にグル  
ープを作り、汗を流す  
ようにしています。

これからの活動は、平成8  
年度から実施しており、生  
徒たちの手で植えられた  
花々は、今ではすっかり地  
域の風景の一つとなっ  
ています。

きました。夏休み中も生  
徒会本部が中心となり、  
毎日欠かさず水やりを続  
けてきました。  
生徒たちは、秋の風に  
揺れる満開のコスモスを  
楽しみにしながら、12月  
の菜の花の種まきについ  
て今から計画を立ててい  
ます。



コスモスの苗の移植を前に、境川の河川敷を耕す生徒たち

「まなびやまと」は、開か  
れた教育行政の一環として、  
保護者、市民、教職員向けに、  
本市における各学校の教育活  
動や教育委員会の事業を、具  
体的にお知らせしようとする  
ものです。年2回の発行を予  
定しています。気軽にお読み  
いただき、ご意見・ご感想をお  
寄せいただければ幸いです。

文化庁主催「本物の舞台芸  
術体験事業」で、10月16日、淡  
谷小学校において「二期会合唱  
団」による鑑賞会を行います。  
これは、児童・生徒に芸術  
を愛好する心を育て、豊かな  
心が育まれるよう、優れた公  
演実績を有する芸術団体に  
よる公演を学校現場におい  
て提供し、芸術文化・伝統文  
化に関する体験やふれあう  
機会の充実を図るという趣  
旨の事業です。

また、二期会合唱団は、千  
八百名の会員を擁する、世  
界でも類を見ないプロの歌  
手による合唱団です。  
また、二期会合唱団は、千  
八百名の会員を擁する、世  
界でも類を見ないプロの歌  
手による合唱団です。



二期会の方々の指導により元気な声で歌う子どもたち

## 響け歌声

### 二期会のプロ歌手が舞台芸術 ワークショップを開催

当日の鑑賞会では、二期会  
合唱団の皆さんが、淡谷小学  
校の子どもたちと一緒に「世  
界中の子どもたちが」を歌い  
ます。

そこで、事前指導として7  
月8日、二期会の方が5名淡  
谷小学校を訪れ、舞台芸術  
ワークショップを行いました。  
ワークショップでは、テノー  
ルとアルトの歌手の方々が、  
優しく丁寧に子どもたちを  
指導してくださいました。



## もっと、やってみよう!

### 一 生け花、茶の湯、水墨画を体験



北大和小学校の  
6年生が、7月17日  
総合的な学習の時  
間に生け花、茶の  
湯、水墨画を体験し  
ました。この授業は、  
室町時代に起源を  
もつさまざまな文  
化を体験すること  
を通して、日本の文  
化に興味を持ち、大  
切にする心を育てる  
ことを目的に行われたも  
のです。授業には、講師や  
アシスタントとして、6  
年生の保護者に協力を依  
頼しました。

当日は、11名の保護者  
が子どもたちに指導を  
してくださいました。子  
どもたちは、挑戦してみ  
たいコースに分かれ、ど  
の子も興味津々、真剣な  
表情で学んでいました。  
そして、室町時代に生ま  
れた文化が、予想以上に  
今の暮らしの中でも生  
かされ、親しまれている  
ことに気づき驚いていま  
した。  
生け花に挑戦した子は  
「最後の一輪がとてもし  
に入りました。失敗もあ  
ったけど、お花が好きに  
なりました。今度は自分  
でもやってみようと思  
います」と感想を述べて  
いました。  
この体験学習は、保護  
者の協力を得て昨年度か  
ら行っており、伝統文化  
への理解だけでなく、子  
どもたちの歴史を学ぶ  
楽しさを喚起したり、保護  
者と子どもたちとのふ  
れあいを深める機会と  
もなっています。



生け花を体験する6年生



おめでとう！！

## 陸上男子二百メートルで 全国優勝



第29回全日本中学校陸上競技選手権大会が8月22日、京都西京極陸上競技場で開かれ、本市から出場した引地台中学校の海藤淳さんが、陸上男子二百メートルで全国優勝を果たしました。海藤さんは、同大会四百メートル決勝にも進出し、6位に入っています。

8月30日に、優勝報告のため土屋市長を訪問。市長から「優勝おめでとう。これからも活躍が楽しみです。」と語っていました。



土屋市長に優勝を報告する海藤さん

高校へ行ってもう一位をめざして頑張ってください」との祝福の言葉がありました。将来について海藤さんは、「走ることを続けたい。努力して、これからも優勝をめざせる選手になりたい」と抱負を語っています。

## 地域の昔を身近で学ぶ

### 郷土学習室



上和田小学校の3階には「郷土学習室」があり、子どもたちの学習に利用されています。この学習室は、昨年度、上和田小学校創立三十周年記念事業の一つとして、二十周年実行委員会の計画によりつくられました。

郷土学習室には、この地域で昭和30年代まで実際に使われていた鋤(すき)、唐箕(とうみ)、縄ない機、俵編み機などの農機具類27点が展示されています。

これらの農機具類は、数年前地域の方にご寄贈いただき、学校で保管していたものを整備し、展示したものです。

また、実行委員会では、展示物が子どもたちの学習により役立つようにと、農機具類の使い方を調べ、詳しい説明を二十周年記念誌に掲載しました。

その他、郷土学習室には、四畳半の畳を敷き、真ん中に囲炉裏をつくり、上から自在鉤(じざいかぎ)を取り付けた、



農機具や囲炉裏のある郷土学習室

昔の家の中の様子が分かるコーナーもあります。郷土学習室は、社会科や総合的な学習などで多く利用されており、子どもたちにも使っていた道具やくらしがよく分かる評判です。

## 友だちたくさん

伝統の異年齢交流で  
「コミュニケーション」を



の仲間づくりの苦手さや人間関係の希薄さが指摘される中、「コミュニケーション」の仲間づくりを進める大切な活動となっています。6月に各グループが誕生し、これまで自己紹介、ゲームと楽しい活動が展開されてきました。これから10月25日に行われる、全校遠足をめざして各グループの活動が計画されていきます。全校遠足は今年度「泉の森」へ行きます。

今年度から本格実施された、総合的な学習ともからめ、各グループの自主的な計画に基づき、異年齢の子どもたちが

文ヶ岡小学校の特徴の一つは、全校児童の人数が少ないことです。でも少ないということとは、それだけ友だちと親しく知り合えるということですね。そこで文ヶ岡小学校では、これまで伝統的に1年生から6年生までの異学年で「グループ10人前後の小集団を作り、友だちづくりの活動を進めてきました。この活動は、今年度」が「なにかよし活動」と呼ばれています。

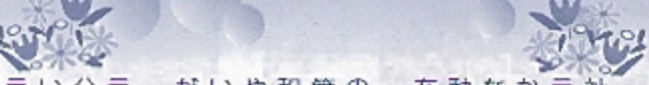
今年度から本格実施された、総合的な学習ともからめ、各グループの自主的な計画に基づき、異年齢の子どもたちが



下級生から上級生まで一緒に  
なつて長縄跳びに挑戦

一緒に活動し、互いに教え合いや学び合いの態度を高くむかえたいと考えています。この活動は、来年3月、6年生の卒業まで続き、グループの友だちから卒業生へお祝いのメッセージを贈ってあげることと終了します。今年度も、きっと楽しい思い出が作られることでしょう。

## 身近なところから福祉の心を



南林間中学校の福祉委員会は、各クラス1名の代表者からなり、いろいろなボランティア活動のリーダー的存在となっています。校内では、募金への協力や観葉植物の管理、校外では、成和ナッシングプラザやサンホーム館間といった老人施設訪問が主な活動です。

特にナッシングプラザは中学校から数分の場所にあつて近いこと、中学生のボランティア活動に福祉の問題を体験を



老人施設を訪問し、活動する生徒たち

通して考えることができる」と生徒に好評のナッシングプラザ訪問を、無理なく、相互理解を深め合える活動として、今後も継続していくこととしています。





# 夏季休業期間は充電の機会!



## —夏季研修講座・研究会に教職員が多数参加—

今年の夏季休業期間中、指導室・教育研究所および県教育委員会主催による研修講座や研究会が26日、51回実施されましたが、それらに、のべ1,557名の本市教職員が参加し、研鑽を重ねました。教職員が参加した研修講座や研究会からいくつかをご紹介します。

### 社会体験 研 修

学校とは違った職場での研修を行うことにより、視野を広め、社会認識を深めることを目的として、今年度新たに実施した研修です。8月19日から21日までの3日間連続で、市内の特別養護老人ホームや障害福祉センター、市立保育園など15の施設で32名の教職員が研修しました。

環境管理センターと資源選別所で研修した教員は、「ゴミ回収・資源回収・資源選別作業に携わっている方たちの仕事に対する熱意が感じられ、頭の下がる思いがした。このような仕事に対する誇りを生徒に伝えていきたい」等の感想を語っていました。また、保育園では、園の方から、「学校と保育園との情報交換ができ参考になった。卒園児の学校での様子を知ることができ、幼児期に何を大切にすべきか考えるよい機会となった」という声が聞かれました。社会体験研修で得た貴重な体験が、広く教育活動に生かされていくことが期待されます。



社会体験研修中の教職員（左から 資源選別所・特別養護老人ホーム・市立保育園）

### 情報教育 研 修 会



コンピュータを使いながら指導法を研修する参加者

7月22日から8月7日まで12日にわたって、南林間中学校と林間小学校を会場に情報教育研修会を行いました。この間のべ415名の教職員がデジタルカメラやインターネットを活用した授業の進め方や、パワーポイントを活用したプレゼンテーションの方法などについて、コンピュータを使い研修しました。

### 合唱指導法 研 修 会



林間学習センターで7月23日、合唱の指導法研修会を行いました。講師は、小学校在職中に数々の音楽コンクールで活躍された前平塚市立中原小学校長福井靖史氏。34名の教員が指導力の向上をめざして、二部合唱や三部合唱を行いながら、合唱指導のポイントを研修しました。



合唱指導のポイントを研修する参加者

### 教育課程 研 究 会

小・中学校の教育課程実施に伴う指導上の諸問題を研究協議する、高相地区教育課程研究会が、8月8日・9日、5市（大和市・相模原市・海老名市・座間市・綾瀬市）を会場に開かれました。研究会には、本市の小・中学校からのべ367名の教員が参加し、実践報告を基にしながら小・中学校教育の改善・充実をどのようにして図っていくかなどについて協議を行いました。



教育研究所では、小学校では説明や指示をすべて英語教員たちが英語活動を行う際で行いましたが、子どもたちの指導資料集「Warm Up」は戸惑うことなく、楽しそうに作成し、今年4月、小学校の学習に活用していました。全教員に配付しました。この指導資料集を使いながら、実際に集の作成を指導した文化女子のように英語活動の授業を大学非常勤講師の久慈百合氏進めていったら効果的かを学ばせ、無理なく歌やゲームなどぶ教員研修会が、指導室と教育を指導するにはどうしたらよ研究所の共催で6月25日深見いかを、参加した教員たちに、小学校を会場に開かれました。実際に体験させながら指導し、研修会では、最初に2年生、参加者からは、「子どもたち担任の小野香織教諭が公開授業を行い、国際教育指導員が英語を理解し、楽しんで、チョーナさんとチームティー姿に驚いた。指導は難しいが、チングで、英語の歌やゲーム工夫してやってみようと思え、などをクラスの子どもたち」という感想が多く寄せられて指導しました。チョーナさんいました。



英語で番号を言いながらゲームを楽しむ2年生

# 生徒に好評 部活動ボランティア

この度、指導室で、中学校部活動の指導ボランティアを募集したところ、23名という多くの市民の方々より、お申し出をいただきました。内訳は、運動部7名、文化部16名。男性11名、女性12名となっており、現在、3名の方(いずれも野球部)が、「部活動指導ボランティア」として実際に学校で、土・日

平日や放課後を中心に活躍なさっています。毎朝生徒より早く学校にきて、グラウンドの草むしりをしながら生徒の練習の始まりを見守ってくださる方や、大きな声と大きな身振りで熱く指導してくださる方もおられます。教師ではできにくい専門的な技術指導により、見違えるような技能の向上も見られた生徒も

生徒数の減少に伴う教員数の減少、教員の高齢化等による部活動の顧問不足に悩んでいる学校も多くありますが、今年度発足した部活動指導ボランティアバンク事業が、今後部活動活性化の一助となっていくことを願っております。

いて、生徒たちには極めて好評です。現在活躍いただいているのは運動部だけですが、今後は文化部へも



引地台中学校で野球部の指導をする部活動ボランティアの戸口さん

## 学校給食のメニュー作りにチャレンジ

「夏休み親子料理教室」開催

学校教育課では、学校給食のメニューを親子で楽しく調理し、自分で作る喜びを知ってもらおうとともに、学校給食への理解と関心を深めてもらうと、7月30日・31日の2日間、市内の小学校4年生から中学校3年生の親子を対象に「夏休み親子料理教室」を開催しました。

今回の料理は、マーボー豆腐・とうがんスープ・五色あえ・オレングゼリーの4品。子どもたちに人気のあるメニューともう一つ人気のない野菜のメニューを選びチャレンジしてもらいました。子どもたちは、「自分たちの作った料理はおいしい」と、とても喜んで食べていました。



どんな料理ができるかな



## 渋谷小学校トイレ 全面改修工事を実施

教育委員会総務課では、老朽化したトイレを誰でも安心して使えるトイレをめざして、全面改修を行っています。

改修にあたっては、学校に協力をいただき、子どもたちを対象にしてトイレに関するアンケートを実施したり、教職員の意見を参考にしたりしながら設計業務に取り組まれました。

工事は、平成14年8月6日から着手して、10月31日までの工期で進めていきます。



改修工事中のトイレ